

HG/Pscan Serv *Plus*

OCR付高機能PDF変換サーバ



**紙文書・電子文書を
テキスト付きフルカラーPDFに簡単自動変換**

紙文書スキャンングPDF変換

コピー感覚でテキスト付きPDF化	▶▶▶	高精度OCRで検索可能なPDFに 誰でも簡単に情報共有を
フルカラー紙文書もコンパクトに 高圧縮カラーPDFでJPEGの1/10へ	▶▶▶	メール/ウェブでカラーデータが可能に

アプリケーションファイルPDF変換

Windowsアプリケーションに対応 フォルダーに入れるだけでPDF化	▶▶▶	ワード/エクセル/パワーポイント/一太郎 Visio / ページメーカー / CADなどもPDFへ
--	-----	--

電子文書の真正性確保 4.0 NEW

電子署名・タイムスタンプ機能を 標準装備	▶▶▶	e-文書法・コンプライアンス・日本版SOXなどに最適
-------------------------	-----	----------------------------

QRコード/OCRによる自動登録 4.0 NEW

QRコード読取・ファイル名設定機能を 標準装備	▶▶▶	大量文書のカンタン、確実な自動登録可能に
----------------------------	-----	----------------------

紙文書もアプリファイルもサーバで一括変換

紙文書スキャンングPDF変換

全文検索可能なPDF

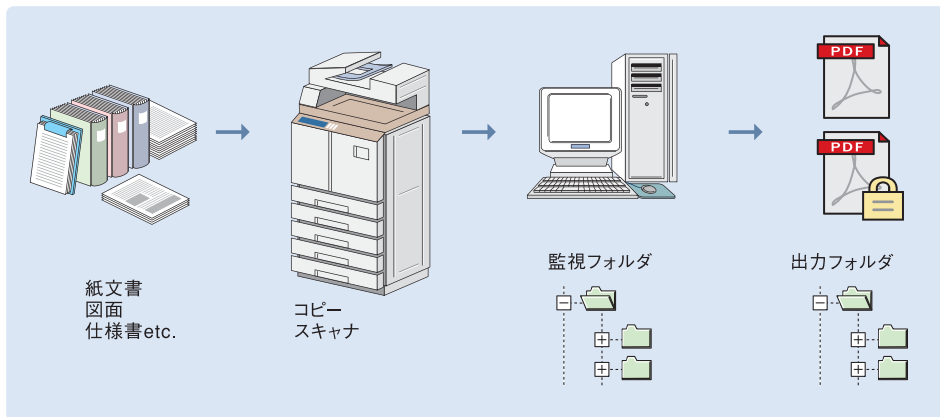
高性能OCR機能により、スキャンイメージからテキストを認識、イメージ上の透明なテキストとして貼付PDFへ変換。

高圧縮カラーPDF

原稿の種類や用途により、JPEG2000・高圧縮カラーPDFなど最適な圧縮方法を選択して、テキスト貼付PDFに変換できます。

セキュリティつきPDF

高価なソフト不要で、ファイル単位のセキュリティ保護付きPDFを作成。



単なるTIFFやPDFにするだけでは、検索も分類もできません。ひとつ、ひとつキーワードや属性を設定するのは膨大な手間がかかってできない!



コピー感覚で誰でもカンタン電子化

原稿をセットして、スキャンボタンを押すだけで、検索可能な透明OCRテキストが埋め込まれたPDFファイルに変換。全文検索可能で大量文書も情報共有がすぐにできます。



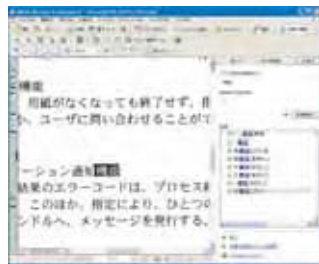
OCR透明テキスト

膨大な紙文書を電子化し、検索活用したい。でも、いちいちキーワードを登録しては大変です。

画像で表示、テキストで検索

紙文書をイメージで入力し、高精度OCRでテキストデータを取り出し、原稿イメージの同じ位置に透明テキストとして埋め込みます。

表示は画像ですから誤りはなく、しかも検索できます。



全文検索、Windows検索に対応 HG SYSTEM

Adobe Readerだけでなく、PDFに対応したほとんどの検索エンジン、知識管理システムで使えます。またWindowsのエクスプローラによる検索にも対応。

修正可能なレイヤーテキストPDF HG SYSTEM

OCRに誤りがあっても、レイヤー切替でAcrobatだけで容易に修正できるレイヤーテキストに対応 (PDF1.5)。

高圧縮PDF(HC-PDF)

電子化してもメールで送れない、Webに載らないでは困りますね。

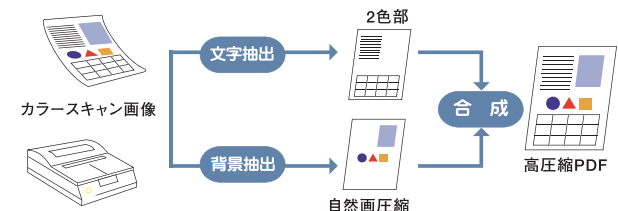
最適な圧縮方法が選べます

通常1~2Mバイトにもなるカラー印刷物などのスキャンデータをJPEGなどの方法に比べ1/10程度に小さく圧縮できます。さらに写真に有利なPDF1.5対応のJPEG2000や、校正などの赤字だけのスキャンデータをコンパクトにするMC-PDFなどを用意しています。

高圧縮カラーPDFとは

カラー背景部分と文字部分を特殊な画像処理により分離し、それぞれ最適な方法で圧縮し、標準のPDF機能だけで高圧縮で高品位の電子化をする技術です。

テキスト付高圧縮フルカラーPDF変換の仕組み



アプリケーションファイルPDF変換

PDFに統一して、アプリケーション不要に

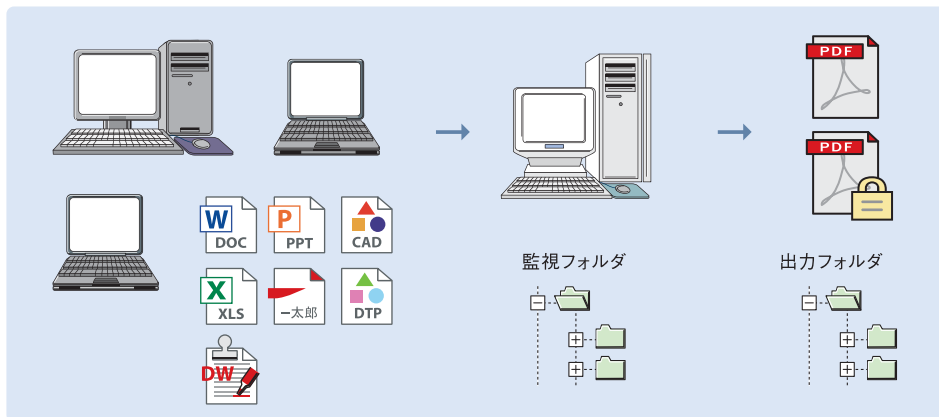
ワード、エクセル、パワーポイントから一太郎、DTP、CADに至るまで、すべてPDFに統一可能。アプリケーションの配布が不要です。

クライアントライセンス不要

PDF生成ソフトをクライアントごとに用意しなくてもサーバーで一括変換。管理も楽で、コストも大幅削減できます。

Windowsアプリケーションに対応

Windowsの印刷機能に対応しているアプリケーションのほとんどが自動変換可能。いちいちアプリケーションの起動などが不要です。



いちいち別々のアプリケーションを立ち上げて変換はたいへん。操作方法も違うし、パスワード設定や、表示設定などなかなか統一できませんね。



様々なアプリも楽に自動変換

いったん設定してしまえば、Windowsの印刷に対応するアプリケーションなら、ワード、エクセル、パワーポイントだけでなく、DTPやCADまで自動変換。パスワード設定や表示設定もできます。

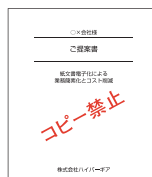


セキュリティ設定

高価なセキュリティサーバなどなしに、ファイルだけで種々のセキュリティニーズにも対応できるのはPDFだけ。

パスワード機密保護

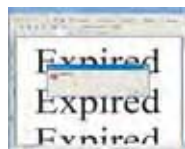
RSA RC4 40/128ビット暗号化をサーバで自動設定。ファイルだけで安心した保護ができます。



ウォーターマーク

配布制限 HG

一定期間しか見れなくする閲覧期間制限や、ダウンロードしたファイルは開けなくするURL固定などにより、情報漏洩を防止しやすくします。



閲覧期限制限

印刷制限

見せてもいいけど、印刷させたくない。こんなニーズもPDFならOK。印刷禁止・低解像度印刷・コピー不可のほか、印刷時のみ現れる透かしを入れることもできます。



サムネイル文書管理

PDFはファイルを開くのに時間がかかる。そこでPDFを開かずにすばやく目的の文書・ページへ。

サムネイルで一覧表示

文書先頭のみ・全ページ・各ページ3段階までの拡大などのサムネイルを表示できます。項目のソートも可能。

階層メニュー

無制限の階層で分類できます。

データベース検索

ファイル名、サイズ、文書名、任意のユーザ項目を含め、5項目までの文字列・数値検索ができます。



サーバ不要、CD-ROM化可能

リッチクライアント技術により、サーバソフト不要なので、できあがった文書システムCD-ROMで無償配布可能。



電子データの真正性保証

■ 電子文書時代に対応する、電子データの真正性を保証

誰が「電子署名」、いつ「タイムスタンプ」、改ざん「電子署名・タイムスタンプ」で、貴重な電子文書の真正性を保証します。改ざんが容易な電子文書では必須の機能です。

■ 「電子署名法」で認定を受けた、認証事業所の電子署名サービスに対応

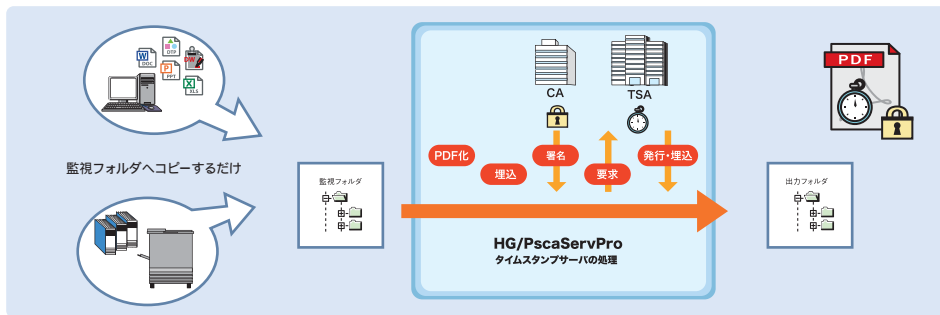
2001年4月に施行された「電子署名法」において、一定の電子署名をされた電子的文書は、手書き署名や押印をされた文書と同程度の法的効力を持つようになりました。

■ 日本データ通信協会(財)で認定されたタイムスタンプサービスに対応

2005年4月に施行された「e-文書法」の一部省令では、日本データ通信協会(財)が認定した時刻認証業の認定タイムスタンプが義務付けられています。(現在 アマノ/PFU 様に対応)

■ ECom 相互互換テストで認定された長期署名対応

ECom 次世代電子商取引推進協議会で2005年10月15日から12月14日に実施された「長期署名フォーマットの相互運用試験プロジェクト」CAAdESプロファイルにて検証テスト合格を受けた長期署名に対応しています。



注文書をメールで受けましたが、本当に正しい注文書が不安です。

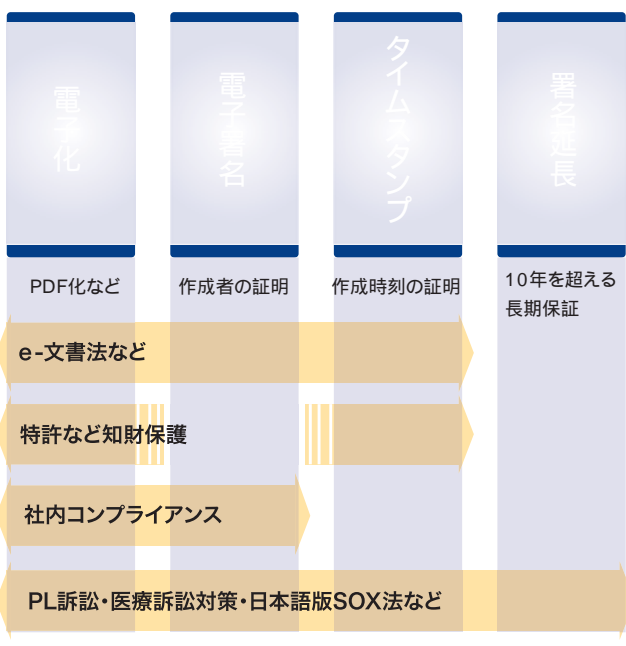


偽物を防ぐ真正性の保証

電子署名とタイムスタンプにより、「誰が」、「いつ」が保証されるので、「お客様であること」、「いつ出された注文なのか」、「改ざんの有無」などが分かり、非常に安心です。



オールインワンで真正性ニーズに対応



HG/PscanServPlus/Proなら電子化から署名延長までバッチで大量の真正性処理がおこなえます。

タイムスタンプサンプル

・世界標準 Acrobat7.0(PDF1.6)形式でのタイムスタンプ



署名欄に、署名とタイムスタンプが格納されます。

注意事項

- ・長期署名は、HG/PscanServPro版のみの対応です。
- ・電子署名注意事項
電子署名については、別途認証局との契約により電子証明書の発行が必要です。契約については、お客様と各認証局との直接契約となります。弊社では、お取り次ぎしておりません。
- ・タイムスタンプ注意事項
インターネットへの接続が必要です。タイムスタンプを利用するには、時刻配信業者との契約が必要です。タイムスタンプについては、配信業者毎決められた費用が発生致します。

QRコードを活用した画期的な自動電子化フローを実現

QRコードによる電子化時のリネーム、振分登録、属性設定の自動化を実現

紙文書の電子化にとって、最大の障害はスキャンした文書へのファイル名や文書属性、キーワードなどの設定作業です。

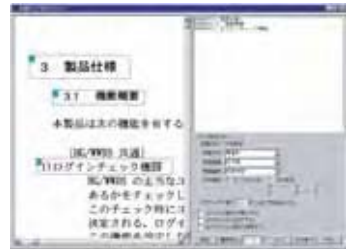
HG/PscanServPro・HG/PscanServPlusはQRコードの作成/読み取り機能を標準装備していますのでスキャン文書のファイル名変更や登録や振分け作業を大幅に効率化する事ができます。

QRツールにて、QRコードを付与された電子文書は、紙にプリント後、承認印やコメント等各種書き込みをされた後でもスキャンするだけで、QR読み込み機能で、ファイル名や文書プロパティの情報を忠実に復元したPDFに変換でき、後でファイル名や属性情報を再度キー入力する手間がかかりません。

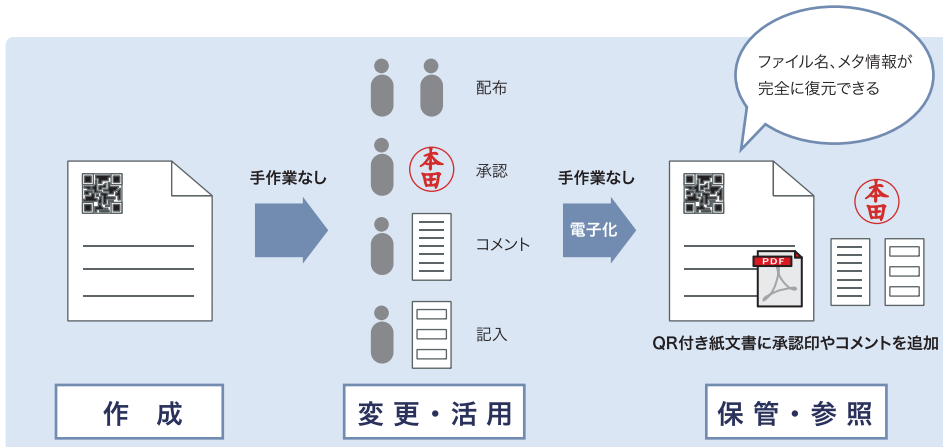
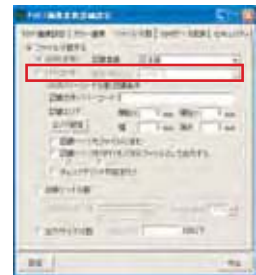
*HG/PscanServPlusは、ファイル名+変換日時のみを取り込みます。

QRコード以外にもゾーンOCRによる自動処理が可能

QRコードを使わなくても、ゾーンOCRや一次元バーコードによる自動処理ができます。また、QRコードとゾーンOCRを組み合わせると、より高度な自動処理も可能です。



最適なPDFファイルを作成するのに必要なファイルを自動分割する方法として、白紙セパレータ、OCR文字列、バーコード認識、ファイルサイズなど多くの方法が選べます。



QRコードでファイル名や文書情報を忠実に復元できます。

QRコードによる自動登録処理

変換日時との組み合わせで容易な版管理

QRコードによるファイル名と変換日時の組み合わせで、電子化文書の版管理も容易に行えます。

任意の保存フォルダに自動振分けが可能

ファイル名や文書プロパティの情報をQRコードで画像として埋め込んだPDFは、ファイル自動振分け機能との連携で、FAXやスキャナ経由で、任意の保存フォルダに自動で格納できます。

これにより、複合機のペーパーレスFAXと連携して、遠隔地からの受発注や報告書の自動登録システム等への利用が容易になります。



文書管理システムへの属性キーワード登録も自動化

HG/PscanServProにより、QRコードから取り込まれた属性(キーワード)情報はCSV形式で出力し、主要なほとんどの文書管理システムに連動して、文書データベースへの自動登録を可能にします。

*対応している文書管理システムは、添付の「機能詳細シート」をご覧ください。

QR生成ツールを標準装備

対象文書に最適なQRコードを一括生成できる「HG/QR生成ツール」標準装備しています。

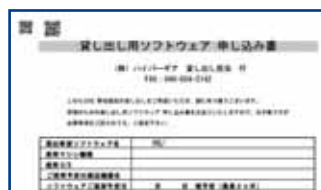
紙文書やMS-Office文書などの対象文書にあわせてQRコードを容易に一括で生成付与できる「HG/QR生成ツール」が1ライセンス標準で付属しています。



図 3種のQR生成方式を用意しています。

あらかじめQRテンプレートを用意しておけば運用が容易

例えば、領収書張り付け台紙、交通費精算、休暇申請などの業務で使用する帳票類をQRコード付きでテンプレート化しておけば、業務の自動化がより簡単に実現できます。



高付加価値PDF

しおり設定、ヘッダ、フッタ設定などPDFの機能を活用したコンテンツの作成が効率的に行えます。

しおり設定 / 取得バッチ処理

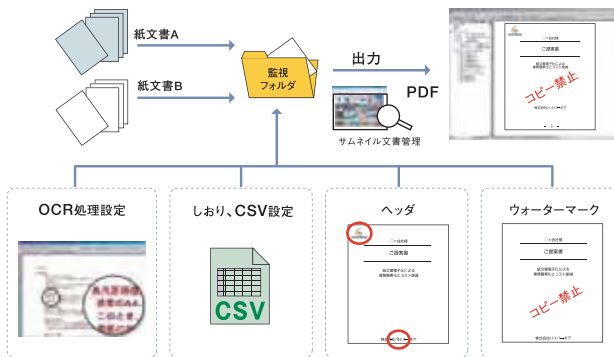
しよりのページ番号、階層、タイトルなどをCSVファイルで用意すれば、自動的にしおり設定。時間を大幅に軽減します。既存のPDFからしおりデータの取得、再構築も可能。またファイルをまたがるしおりも設定できます。

ヘッダー・フッター・ノンブルなど

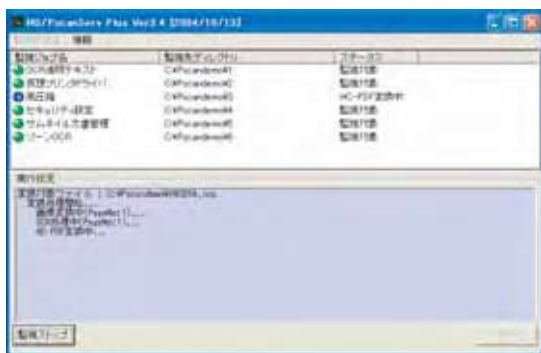
コンテンツ作成に欠かせない、ヘッス、フッタ、ノンブル、をウォーターマークなどをバッチで自由に設定できます。

文書情報設定

文書タイトル、キーワードなどの文書情報、オープン設定などもバッチで簡単に設定。



簡単でわかりやすい画面(メイン画面・設定画面)



HG/PscanServPlus メイン画面



設定画面



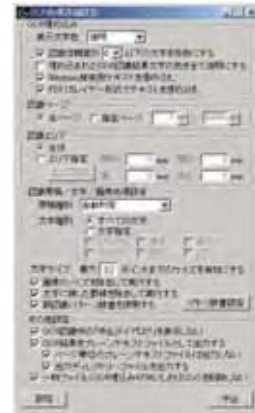
変換フォーマット登録画面



40bit暗号化の設定



128bit暗号化の設定



OCRの各種設定が可能

必要なシステム仕様

- CPU : Pentium 2GHz 以上推奨
* OCRとして従来より高精度なエンジンを利用しているため、より高速なCPUのご利用をお奨めします
- RAM : 256MB以上推奨(カラーの場合512MB以上推奨)
- DISC : システムとして200MB、ワークエリアとして500MB以上推奨
- USBポート : 1ポート占有します
- O/S : Windows XP Pro / XP Home/Windows 2000/2000 Server/Windows Server 2003

- ソフトウェア価格
HG/PscanServPlus
税込み価格 509,250円 (本体485,000円)
- より高機能なバージョンもあります
HG/PscanServPro オープンプライス

Adobe Acrobat, Adobe Readerは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。DocuWorksは、富士ゼロックス社の商標です。Microsoftは、米国Microsoft Corporationの米国および、その他の国における登録商標または商標です。

開発・販売元

株式会社 ハイパーギア

〒330-0851 埼玉県さいたま市大宮区櫛引町1-72-2
HANAビル1F

PHONE: 048-654-2141 FAX: 048-654-2142

http://www.hypergear.com

記載事項は予告なく変更になる場合があります。ご発注の際はご確認ください。



お問い合わせは当社へ